

川上ダム通信

2012
6
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
http://www.water.go.jp/kansai/kawakami

平成24年度 実施予定の工事概要

平成24年度に川上ダムで実施が予定されている工事の概要についてお知らせします。

今年度は昨年度に引き続き県道青山美杉線の付替工事を実施いたします。

具体には、川上ダムの貯水池を横断する唯一の橋梁となる「川上ダム付替県道青美線貯水池横断橋工事」、最後の未施工区間となる「川上ダム付替県道青美線第2工区(その4)工事」などを実施する予定です。下の図表に各工事の位置と工期予定を記載しています。

付替県道青山美杉線の道路工事は、平成23年度までに総延長3.9kmのうち3.0kmが完成しており、残る0.9kmについて現在鋭意施工中です。平成22年度から北野地区で実施していました「川上ダム付替県道青美線トンネル工事」は5月下旬に完了いたしました。(詳細は次頁へ)

付替県道青山美杉線は、川上ダム付替県道青美線第2工区(その4)工事が完了した後、道路の舗装を仕上げますと一連の道路として繋がります。平成26年度の開通を目指し、残る工事を進めてまいりますので、引き続き皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。 【工事課 溝尾邦男】



平成24年度 工事箇所位置図

●施工中の付替県道工事

工事名	請負業者名	工期予定
川上ダム付替県道青美線貯水池横断橋工事	鉄建建設(株)	平成22年12月～平成25年8月
川上ダム付替県道青美線第2工区(その4)工事	名工建設(株)	平成24年3月～平成26年2月
工所用道路補修等工事	(有)三重建装	平成24年5月～平成24年8月
付替県道青美線貯水池横断橋上流部整備工事	(株)坂口組	平成24年5月～平成24年11月
川上ダム付替県道青美線トンネル工事【完了済】	清水建設(株)	平成22年3月～平成24年5月

青美線工事進捗状況

青美線トンネル工事

平成22年3月より進めてまいりました青美線トンネル工事は、平成24年5月下旬に完成いたしました。

本工事は、トンネル部分、道路部分合わせて、延長約400m、幅員7.0mであり、トンネルの名称は、4月号でお知らせしたとおり「北野トンネル」です。

今後、現在施工中の付替県道青美線貯水池横断橋工事が完成すると、本工事は道路部分に取り付く予定となっています。

本工事が完成することが出来たのも、皆様の工事へのご理解ご協力があったからこそです。本当にありがとうございました。



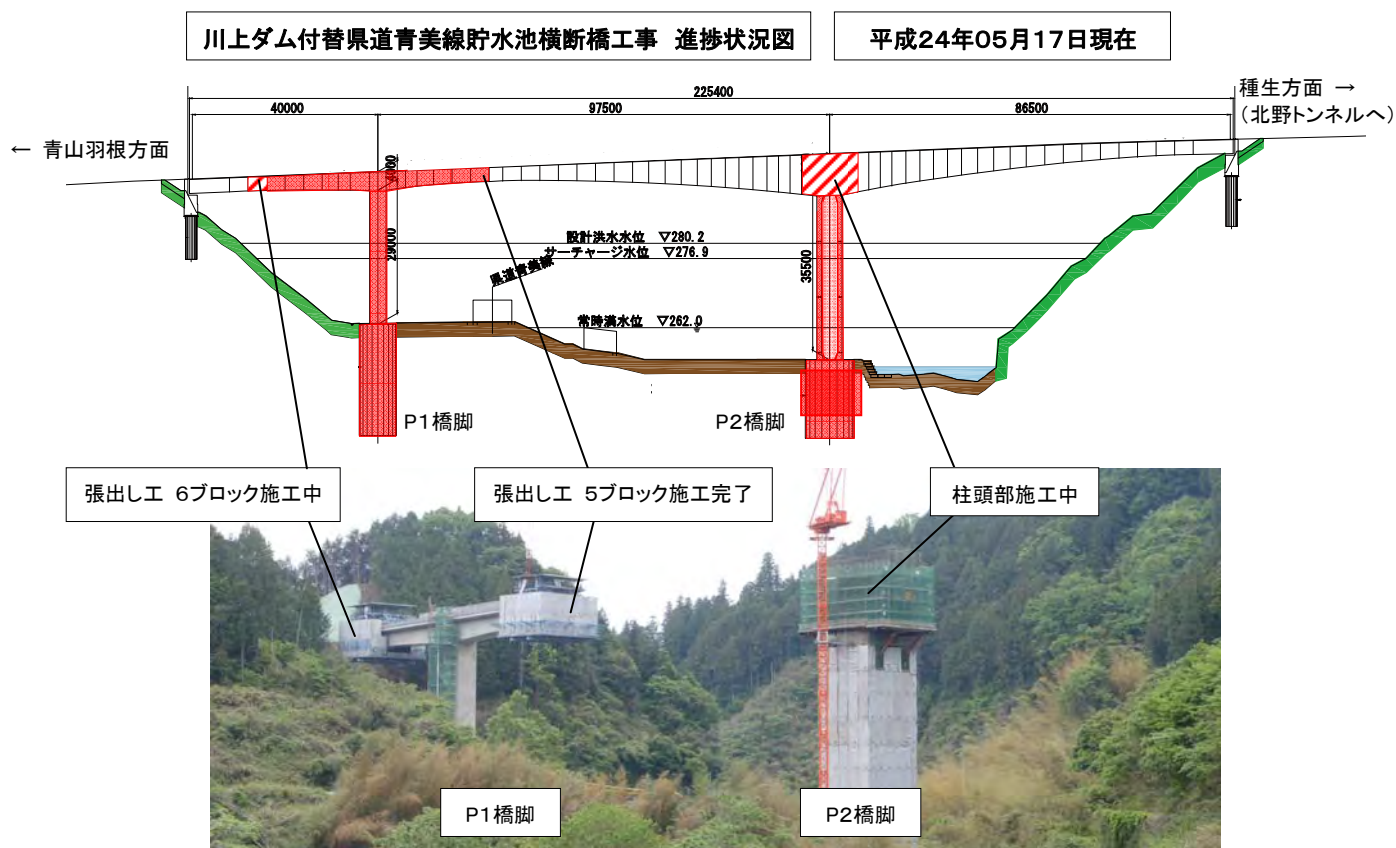
北野トンネル（青山羽根方面から望む）

青美線貯水池横断橋工事

下図は、5月17日現在の工事進捗状況を示しており、赤色の着色は完了済み、赤色の斜線は作業を実施中の箇所を示しています。

P1橋脚は、張出し施工を実施しており、現在5ブロックまでの施工を完了し、青山羽根方面側の6ブロックの作業に取りかかっています。P2橋脚側への張出し施工は5ブロックで完了しました。

P2橋脚は、現在柱頭部工を実施しています。柱頭部工を終えますと、張出し施工に取りかかり、P1橋脚のような「やじろべえ」が登場します。 【工事課 廣瀬早苗】



工事現場状況（種生方面から望む）

最高ランク！伊賀米！

～「味・香り・粘り」の三拍子揃ったおいしい伊賀米～

三重県伊賀地区のコシヒカリ『伊賀米』がこの度、(財)日本穀物検定協会による「2011年産米の食味ランキング」で、三重県産米では初めて最高評価の「特A」に格付けされました。

そもそも『伊賀米』と呼ばれるのは、「農協へ栽培管理記録簿等を提出した米」・「ライスグレーダー網目1.85mm以上で調整された大きめの米」等の厳しい条件5項目を満たしたものだけが認定されるお米です。川上ダムが位置する伊賀市(旧青山町)は四方を山に囲まれた盆地で、肥沃な土壌と淀川源流域のおいしい水に恵まれ、気温の寒暖差も大きいので、おいしい伊賀米が作られる好条件にあるといえます。今は、田植え後の苗が薫風にそよぐ風景があちこちで見られます。

博愛住民自治協議会(伊賀市種生)の川合八司会長に伺ったところ、旧青山町地域は4月下旬～5月連休頃にかけて「代かき」・「田植え」が行われ、6月中旬～下旬にかけては、苗の根腐れ防止と根元を強くするために、田の水を1度抜く「中干し」が行われます。また、併せてシカによる苗の食害やイノシシ侵入防止のためのワイヤメッシュ柵の設置が行われて

います。耕作者の収穫までのご苦労が偲ばれます。

今回の最高評価は、耕作者の方々のこのようなご苦労に裏打ちされた結果ではないでしょうか？

【第二用地課長 中村利行】



代かき風景(種生北野地区)



田植え後風景(種生北野地区)

＃2 環境用語集

環境にかかわる用語を紹介するこのコーナー。

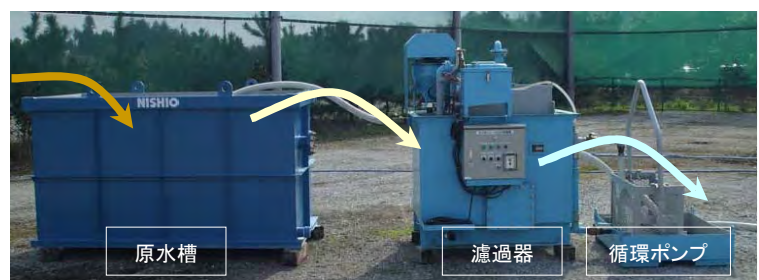
今回は、水中の濁りを減らす装置 **濁水処理設備** について説明します。

工事現場から発生する濁水は、景観の悪化、水産生物の生態系への被害、土壌の透水性低下に伴う農作物の育成への阻害など、様々な悪影響を与える可能性があります。

そのため濁水を発生させる工事では、水質汚濁防止法(1970年)等を準拠した現場管理が責務となります。一般的な濁水対策では、工事現場に「濁水処理設備」を設置し、凝集剤の添加や吸着沈積により懸濁物質(水の中で浮いている物質)を沈殿させ、上澄みの透明な水を川へ放流したり、工事現場内で再利用したりします。またこの過程で発生した污泥は、埋め立ての土として再利用することもあります。

川上ダムにおける土やコンクリートを扱う工事現場では、全て「濁水処理設備」を設置することとしており、新たに始まった付替県道青美線第2工区(その4)工事でもこの設備を設置し、環境配慮に努めることとしています。

【環境課 笹原智弘】



濁水処理設備(付替県道青美線第2工区(その4)工事 設置予定)

平成24年度 労働安全重点目標を決定



安全協議会 実施状況（平成24年5月23日）

『不安全行動をつみ取る勇気で安全環境を
生み出し 無事故・無災害を実現しよう』

川上ダム建設所安全協議会では、1人ひとりの安全意識を高め、今後も安全第一、無事故・無災害で事業を進めてまいります。

【工務課 鶴牧美鈴】

川上ダム通信 編集部メンバー紹介

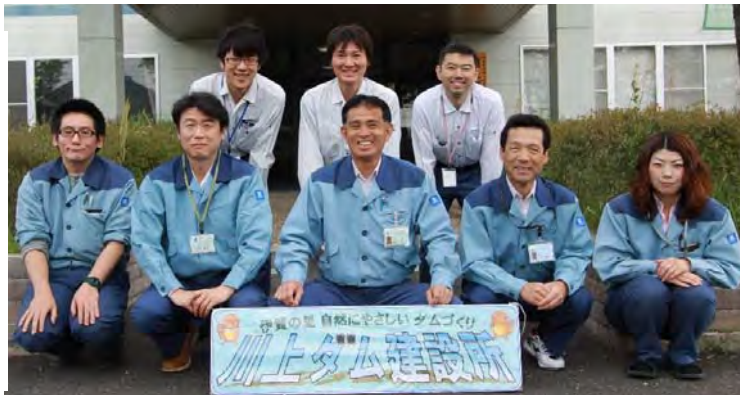
先月号でご紹介したとおり、川上ダムは平成24年度の新体制でスタートし、ダム通信編集部も下記のメンバーとなりましたのでご挨拶させていただきます。

《後列左》記者:松高 遵 (まつたか じゅん)
土地の管理に関わる仕事を担当しています。
毎月お配りする際に、皆様にお会いできるのを
楽しみにしています！

《後列中央》記者:本田 真章 (ほんだ まさあき)
気象、水文に関わる仕事を担当しています。
タイムリーでわかりやすいダム通信をお届け
します！

《後列右》記者:湯本 洋 (ゆもと ひろし)
4月に総務課に配属となりました。趣味の
写真を活かし、美しく楽しいダム通信を作っ
ていきます。

《前列左》記者:
笹原 智弘 (ささはら ともひろ)
環境に関わる仕事を担当して
います。環境に関する情報を皆
様にわかりやすくお伝えでき
よう微力ながらも精一杯がんば
ります。



《前列右》記者:
廣瀬 早苗 (ひろせ さなえ)
4月より工事課に配属となり
ました。工事の最新の情報を
皆様にわかりやすくお伝えし
ていきたいと思ひます。

《前列左から2人目》
デスク:田中 英晶 (たなか えいしょう)
4月に工務課長として赴任してまいり
ました。皆様に親しまれるような広報誌
作りを心がけていきます。

《前列中央》編集長:神矢 弘 (かみや ひろし)
いつも川上ダム通信をお読み頂き大変ありがとうございます。
地域・季節の話題など常に皆様のニーズに合った
記事をお届けできるようこれからも編集部一同がんばっ
てまいります。ご声援よろしくお願ひします。

《前列右から2人目》
デスク:大友 義定 (おおとも よしさだ)
昨年10月からデスクとしてメンバ
ー入りしています。今後ともダム通信をよ
ろしくお願ひします。

編集後記

「伊賀米」の記事作成にあたり、取材にご協力いただきました川合八司様、ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。
また今回、川上ダム通信編集部メンバーを紹介させていただきました。川上ダム通信は、同メンバーが配布も行いますので、その節は感想等お聞かせいただくと幸いです。

皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
ハガキやメール等でどしどしお寄せ下さい。

宛 先 〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地
独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
メール somu1@lily.ocn.ne.jp
◇ 川上ダムは ISO14001 を取得し ◇
◇ 環境保全を推進しています。 ◇



ISO14001: 2004
JQA-EM576m